

選ばれる企業は、はじめてる

SDGs

をビジネスに

Sustainable Development Goals

身近な企業による取り組みやアイデアが、意外にもSDGsに関係していることをご存知ですか？ 環境や社会問題に目を向けることは、地域貢献となり、社会から信頼を得ることができるのはもちろん、新たなビジネスチャンスに繋がります。



Pick up!

はじめています

1. パン屋 [COCCALA BAKE&CAFE] と就労継続支援事業
2. 地元の素材にこだわって丁寧に手作りする安心安全なパンの販売
3. 消費者を意識した質の高いパン作りと衛生面などの徹底
4. 障がいのある人の社会進出に向けた機会の提供



ミライキックス株式会社

☎ 0748-69-5166
甲賀市甲南町野尻431

甲賀の里山で [COCCALA BAKE&CAFE] としてパンの製造と販売を行う。店は就労継続支援事業の場でもあり、通常の事業所での作業が困難な障がい者を受け入れる。グループ会社には保育園、スポーツ教室、建築事業なども。



HP



COCCALA

代表取締役社長
たばたよしかず
田畑義和氏

本当の意味での“豊かな暮らし”を模索する代表の田畑氏。「COCCALAはまだ過程。途中は0と一緒です。まだまだこれからですね」と微笑む。



自然あふれる里山のパン屋「コッカラ ベイク&カフェ」。地元の良い素材を中心に、手間を惜しまず丁寧に焼き上げるパンは、毎日食べたくなるような素朴でやさしい味わい。パンを作るのは、代表の田畑氏をはじめとする3人のスタッフと、障がいを持つ利用者さん。実は就労継続支援を行う事業所で、同社のような「株式会社」は珍しいという。「一般企業として営業しているから、その先にいるのはお客さん。もちろん商品にはこだわります。ここでは社会の厳しさもしっかり学んでほしいです」と田畑氏。「同情でパンを買ってもらうのでは意味がない。いつ

か店を有名にして、こんな人気のお店で自分が働いていたんだと、利用者さんの自信にしてもらおうのが夢」と語る。その分、指導は厳しく感じられるのではないかと話す田畑氏。しっかりと社会勉強の場にしてほしいから、利用者さんとは「自分がどうなりたいか」を何度も話し合うそう。「今まで大切にされてきたからこそ、努力もしなければならぬと思うんです。いつかは親もいなくなる。ここに来てくれたらちゃんと面倒を見てあげられる」と田畑氏。目指すゴールは、この店での経験を活かして利用者さんが社会に出ることだと、最後に熱く語ってくれた。



利用者さんのなかには、初回、1日立って作業できなかった人も。でも、店に来たいという強い想いで努力し、2回目には1日作業を行えたという。元々手先が器用だったこともあり、もう3年もこの店でパン作りをしている。

地域と人をやさしく包むパン屋さん
すべての人に“豊かな暮らし”を